

株主、投資家、取引先、社員のみなさまへ

第15期 事業報告書

2003年4月1日から2004年3月31日まで



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード:7608)

Financial Highlights 財務ハイライト

売上高【連結】

(単位: 百万円, %)



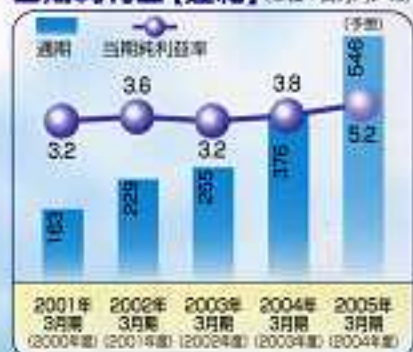
経常利益【連結】

(単位: 百万円, %)



当期純利益【連結】

(単位: 百万円, %)



株主資本・株主資本比率【連結】

(単位: 百万円, %)

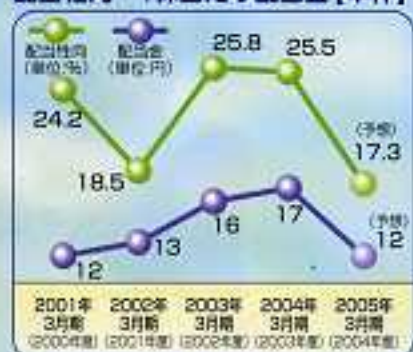


連結従業員数・平均年齢【連結】

(単位: 人)



配当性向・1株当たり配当金【単体】



売上高【単体】

(単位: 百万円, %)



経常利益【単体】

(単位: 百万円, %)



当期純利益【単体】

(単位: 百万円, %)



(注) 1株当たり配当金のうち、2001年3月期には大証二部上場の記念1円、2002年3月期には美証二部上場の記念4円、2003年3月期には業績好調による6円の増配をそれぞれ含んでおります。



CONTENTS

ごあいさつ



Financial Highlights (財務ハイライト)



ごあいさつ



Top Interview



Character Lineup



Business Review (営業の概況)



Consolidated Financial Statements (連結財務諸表)



Non-Consolidated Financial Statements (単体財務諸表)



Corporate Profile (会社の概要)



Stock Information (株式情報)



株主メモ

株主、投資家、取引先、社員のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、ひとかたならぬご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに第15期（2003年4月1日から2004年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

エスケイジャパングループは「子供から大人まで幅広い層に夢を与えるキャラクター商品を人々の生活の中に提供する」をモットーに、癒し・安らぎ・潤いのある商品の企画開発・販売に取り組んでまいりました。

当期におけるわが国の情勢は、雇用情勢におきましては失業率も高水準で推移し、またそれを反映して個人消費も概ね低調で横ばいに推移しましたが、一方では積極的な企業の体制再構築による収益力の改善、米国経済の復調および中国経済の堅調に牽引された輸出の拡大、株式市場の回復等により緩やかな景気の回復が見られました。また消費者の信頼を失うような事件が多発し、企業の管理体制が見なおされた時でもありました。このような状況の中で、エスケイジャパングループは積極的に営業・商品企画部門への人材の採用を行い、かつ販管費等の節減を進めた結果、創業以来14期連続で増収、連結経常利益は3期連続増益で、過去最高益を記録することができました。これからも投資効率の向上と消費者の求める商品を提供し続けていき、企業価値を高めていきたいと考えております。また、みなさまのお声を頂戴し、経営の透明性の向上および今後のIR活動に反映させてまいりたいと思います。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2004年6月



代表取締役社長

久保敏志



Top Interview

Q. 当期の業績はいかがでしたか？

A. 前期から引き続きレジャーの「安・近・短」志向が定着し、アミューズメント施設への来場者数も堅調に伸びました。特に集客力・採算性の高い大規模な複合商業施設内に併設されたアミューズメント施設が好調でありました。また今期の前半は阪神タイガースの優勝で関西経済が盛り上がりを見せ、同時に大阪に本社を置きタイガースグッズを取り扱う当社にも注目が集まりました。その結果が最も大きく表れたのは株価で、当時の最高値を更新し、多くの方に当社を知っていただけたのではないかと考えております。各事業ごとに関しましては後ほどのページにてご説明いたしております。

Q. 当期のトピックスは？

A. 当期は業績が好調だったため、2度の株式無償分割の実施を発表いたしました。昨年8月8日には同11月20日に効力が発生した1対1.2の発表を、また本年1月28日には同5月20日に効力が発生する1対1.3の分割を行うことを発表いたしました。また阪神タイガース優勝により当社の業績が好調なことに伴いまして、中間配当6円に2円の増配を行い、また期末には過去最高益を達成できたことへの株主のみなさまのご支援にお応えすべく、普通配当6円に3円の記念配当をプラスし、年間17円の配当を実施いたしました。

また昨年の7月にはグループの商品企画部門を東京オフィスから分離して浅草橋オフィスに集約しました。これによって商品企画開発体制を整備し、今後グループの商品企画の拠点として機能させていきます。

Q. 阪神タイガースグッズは引き続き販売するのですか？

A. 当期は星野監督と田淵コーチの似顔絵をモチーフにしたぬいぐるみやストラップ等を販売し、阪神タイガースの優勝が当社にとっても追い風となりました。阪神タイガースはトップ陣が交替し、星野監督から新たに岡田監督が就任となりました。当社においても来期は岡田監督の似顔絵を用いた商品販売し、主要9選手の似顔絵を用いた商品も新たに登場することとなりました。また、チームキャラクターの“トラッキー”や“ラッキー”を用いた商品も販売いたします。それらの商品の中には子会社である(株)ケー・ディー・システムの技術を用いた携帯電話関連商品などもあります。



通信に反応し、キャラクターの顔の部分に内蔵されているLEDがキラキラ光ります。

© 阪神タイガース

Q. 株主優待は実施していますか？

A. 今のところは実施しておりません。具体的な優待はないものの、当社は株主のみなさまに安定的な配当を実施していくことを基本と考えております。また業績が好調な場合や何か記念すべきことがあった場合などは、株式分割や増配等を積極的に実施しております。また、将来的には株主優待を実施できるように検討を進めております。

Q. 来期の抱負をお聞かせください。

A. 次に迎えます第16期は当社設立15周年の年になります。この記念すべき年にまず目標として掲げていることが「連結売上高100億円達成」です。この目



標を達成させるべく、全社員の総力を結集してまいります。また4月には新卒社員17名と中途社員5名を迎え、グループ総勢160名を超えるまでになります。組織としては拡大しつつも、社員1人1人のキャラクター（個性）を尊重し、可能性を引き出した経営を行ってまいります。また東証・大証一部上場も視野に入れた取り組みを行ってまいります。

Q. 最後に今後のビジョンをお聞かせください。

A. 今後企業を取り巻く環境は激しく変化していき、これまでの概念や価値観等も大きく変わってくると思われます。しかしそんな中で新しいビジネスモデルが生まれてきており、逆にチャンスと捉えることもできるのです。当グループにおきましても、アミューズメント、SP（販売促進）、物販というこの3本柱を基本として、従来のキャラクター業界にはな

い新しいビジネスモデルを構築していきたいと思っております。今後も直販体制を基本とし消費者の声を直接商品やサービスに反映し、展開できるようにしていきたいと思っております。また自社発のキャラクターコンテンツの開発にも着手していきたいと考えております。ゼロからの開発は容易ではありませんが、継続していくことでまた当グループの企業価値が高まればと考えております。総合企業を望まず、キャラクター分野に特化したオンリーワン企業を目指していきたいと思っております。



Group Network

エスケイジャパン本社

〒540-0005 大阪府中央区上町1-3-10 エスケイビル
TEL 06(6785)1300 FAX 06(6785)1400
(株)サンエス(住所同上)
TEL 06(6785)4411 FAX 06(6785)3366



(1号館)



(2号館)



エスケイジャパン東京営業所

〒111-0051 東京都台東区築地4-33-7 エスケイビル
TEL 03(3662)5444 FAX 03(3662)8445
(株)サンエス(住所同上)
TEL 03(3662)7776 FAX 03(3662)8681
(株)ケー・ディー・システム
〒111-0053 東京都台東区浅草橋2-21-9 ASビル
TEL 03(5635)4870 FAX 03(5635)4876



エスケイジャパン福岡営業所

〒812-0041 福岡市博多区吉塚2-16-11 エスケイビル
TEL 092(611)7799 FAX 092(611)7720
(株)サンエス(住所同上)
TEL 092(611)7730 FAX 092(611)7720



エスケイジャパン名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄3-1-26 3376野比ビル
TEL 052(243)1311 FAX 052(243)1322



Character Lineup

★アミューズメント景品



Sanrio
LICENSE

サンリオ
キャラクタークッション

おなじみのサンリオキャラクターたちが今度はクッションになりました。それぞれを連結させることができ、1つで使っても繋いで使ってもかわいいクッションです。

© 1976, 1996, 2004
SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. S5051804

★アミューズメント景品



うしやぎ

うしやぎ めいぐるみ

雑誌「キャラデバmia」のmiaオリキャラコンテスト第2回グランプリ受賞キャラクターのうしやぎ。喜怒哀楽の表情を出しためいぐるみがとってもキュート!!

© MIKAKO MIKAKIX-neuts

★アミューズメント景品



頭文字D

「頭文字 (イニシャル) D」
ラジコンスペックチェンジⅡ

当社では定番となっている「頭文字D」の商品。中でも大好評のラジコンに最新版が登場! 全車走行時にはライトが点灯します。

© しげの秀一
/ 株式会社・トゥー・マックス・オービー企画

★アミューズメント景品



はことん

はことん めいぐるみ

数多くのTV番組や雑誌に紹介され、25歳を中心に小学生から主婦層まで幅広く女性に受けているのはことん。キューブ型のかわいいめいぐるみです。

© MegaHouse

★アミューズメント景品



PECOLA

PECOLA (ペコラ)
めいぐるみ

世界のアニメチャンネル「カートゥーンネットワーク」の幼児向け知育番組「ピぼらペボラ」にて毎日放送中のキャラクター、ペコラ。ビデオ・DVDも発売され大人気となっています。

© 1998 Naomi Iwata

★SP (販売促進) 商品



申めいぐるみ

開運 申めいぐるみ

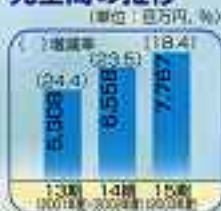
こちらは株式会社永谷園様のキャンペーン商品で、申年にちなんだ親子の申のめいぐるみセットです。対象商品のバーコード2枚1口で応募していただいた方の中から、抽選で4千名様にプレゼントとなった人気商品です。

Business Review 営業の概況

株式会社 エスケイジャパン

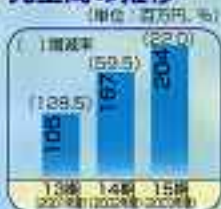
●アミューズメント業界向け販売事業は、先述のとおり施設が非常に好調なことを受けて増収となりました。特にアミューズメントだけではなく、他の娯楽施設（ボウリング、カラオケ、シネコン等）を併設し、大型の駐車場を併設した店舗やショッピングセンター内の施設が好調でした。そんな中で当社は全国の繁盛店舗に密着した営業を行ってまいりました。営業部員は年々増加し、全社員97名中53名を営業部に配置しております。また商品企画にも注力しており、経験を積んだ商品企画担当者を積極的に採用しております。ただ、今期は爆発的なヒットキャラクターが少ない状況で、今後は既存のキャラクターだけではなく、人気アニメ等にも枠を広げ新商品開発の充実をはかり、また仕入部門においては調達力とコストダウンの強化をはかっていかなければならないと考えております。

売上高の推移



●SP（セールスプロモーション）事業は、現在大阪と東京の2拠点で営業を行っております。販売促進を重視する企業も増加し、絶好のビジネスチャンスであると捉えております。当社におきましても今期は大手企業との取引も増加し、コマース等で露出するような企画にも携わらせていただきました。今後は名古屋・福岡営業所内にも拠点を設け、アミューズメント、物販に次ぐ第3の柱と成長していけるよう努力してまいります。

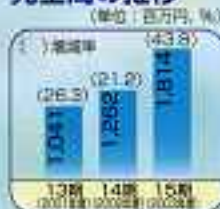
売上高の推移



株式会社 サンエス

●物販業界向け販売事業はチェーンストアや雑貨専門店を中心に販売をしております。アミューズメント業界向け同様営業担当の人数も増え、全社員34名中28名を営業部に配置しております。今期はオリジナル商品を充実させ、その中でもボンボンキャラクターシリーズでキャラクターのラインナップが充実いたしました。阪神タイガースのチームキャラクターの“トラッキー”、“ラッキー”やテレビアニメのキャラクターも多く登場いたしました。その他にも定番となっている“どこでもいっしょ”や“スヌービー”、“アンパンマン”といったキャラクターにおいても新商品を発売し、好評をいただきました。その結果、(株)サンエスは今期初の黒字となり、新たな成長の一步を遂げた1年であったといえます。また来期からは組織の改編も行い、さらなる強化をはかってまいります。そして新たな販路としてコンビニエンスストアやユニバーサルスタジオへの販売も視野に入れた取り組みを行ってまいります。

売上高の推移



KDS 株式会社 ケー・ディー・システム

●2002年11月のグループ化から丸1年経過し、グループ内では電子玩具・携帯電話アクセサリ等の企画開発・販売部門として機能してきました。光で着信を知らせるストラップのほかにも、最近では携帯電話の画面に貼り、電車の中でのメールの覗き見を防止する「メールブロック」が女子中高生、OLを中心に爆発的にヒットし、当社でもキャラクターを使用したメールブロックを発売し、好評をいただきました。今後も特性を活かしつつ、個性を活かした商品を発売し、グループ内でシナジー効果を発揮していきたいと思っております。

2004年開催 AOUショー（幕張メッセ）、ギフトショー（東京ビッグサイト）



春、秋と年間各2回出展しております。

Consolidated Financial Statements 連結財務諸表

(単位: 百万円)

● 連結貸借対照表

科目	前期末 (2023年3月31日現在)	当期末 (2024年3月31日現在)	構成比	増減額
(資産の部)				
① 流動資産	2,457	3,119	73.8%	662
現金及び預金	949	1,540		590
受取手形及び売掛金	1,201	1,328		127
租借資産	237	167		△ 69
その他の	89	97		8
貸倒引当金	△ 20	△ 14		6
固定資産	1,115	1,109	26.2%	△ 5
有形固定資産	801	538	12.7%	△ 263
建物及び構築物	316	235		△ 80
土地	469	278		△ 190
その他	15	24		8
無形固定資産	32	6	0.1%	△ 25
投資その他の資産	281	564	13.4%	283
投資有価証券	80	111		30
その他	225	497		271
貸倒引当金	△ 25	△ 44		△ 19
資産合計	3,572	4,228	100.0%	656
(負債の部)				
流動負債	1,443	1,746	41.3%	302
買掛金	891	841		△ 49
短期借入金	177	191		14
その他	374	712		338
固定負債	69	67	1.6%	△ 2
長期借入金	10	2		△ 7
その他	59	64		5
負債合計	1,513	1,814	42.9%	300
(資本の部)				
資本金	343	378	8.9%	34
資本合計	2,058	2,414	57.1%	356
負債資本合計	3,572	4,228	100.0%	656

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結損益計算書

科目	前期 (2023年4月1日～ 2023年3月31日)	当期 (2024年4月1日～ 2024年3月31日)	百分比	増減額
売上高	7,968	9,877	100.0%	1,909
売上原価	5,825	7,053	71.4%	1,228
販売費及び一般管理費	1,617	1,859	18.8%	242
② 営業利益	526	964	9.8%	438
営業外収益	14	7	0.0%	△ 7
営業外費用	46	13	0.1%	△ 33
経常利益	494	959	9.7%	464
特別利益	-	62	0.7%	62
特別損失	0	255	2.6%	254
税金等調整前当期純利益	493	766	7.8%	272
法人税、住民税及び事業税	256	536	5.4%	280
法人税等調整額	△ 18	△ 147	△ 1.5%	△ 128
当期純利益	255	376	3.8%	121

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 (2023年4月1日～ 2023年3月31日)	当期 (2024年4月1日～ 2024年3月31日)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	373	734	360
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 95	△ 135	△ 40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 160	△ 7	153
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の増加額	117	590	472
現金及び現金同等物期首残高	831	949	117
現金及び現金同等物期末残高	949	1,540	590

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

① 前期に比べて現金及び預金が590百万円、受取手形及び売掛金が127百万円増加したこと等により、流動資産が前期比で662百万円増加しました。

② 営業利益は前期に比べて438百万円増加しました。売上高の増加と売上総利益率の改善（前期比1.7ポイント上昇）したことが主な要因ですが、連結子会社である（株）サンエスの営業利益が71百万円（前期は△0百万円）と黒字化したことも増益の要因であります。



Non-Consolidated Financial Statements 単体財務諸表

(単位:百万円)

●貸借対照表

科目	前期末 (2024年3月31日現在)	当期末 (2024年9月31日現在)	構成比	増減額
(資産の部)				
流動資産	2,157	2,732	70.5%	575
現金及び預金	920	1,444		524
受取手形及び売掛金	987	1,078		91
商品	170	107		△ 62
その他	94	110		15
貸倒引当金	△ 15	△ 8		6
固定資産	1,130	1,145	29.5%	15
有形固定資産	800	537	13.9%	△ 262
建物	316	235		△ 80
土地	469	278		△ 190
その他	14	23		8
無形固定資産	14	5	0.1%	△ 9
投資その他の資産	315	602	15.5%	287
投資有価証券	80	111		30
その他	254	535		280
貸倒引当金	△ 20	△ 44		△ 23
資産合計	3,287	3,878	100.0%	591
(負債の部)				
流動負債	1,140	1,372	35.4%	232
買掛金	738	658		△ 79
短期借入金	66	84		18
その他	336	629		293
固定負債	69	67	1.7%	△ 2
長期借入金	10	2		△ 7
その他	59	64		5
負債合計	1,210	1,439	37.1%	229
(資本の部)				
資本金	343	378	9.7%	34
資本合計	2,077	2,438	62.9%	361
負債資本合計	3,287	3,878	100.0%	591

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●損益計算書

科目	前期 (2024年4月1日～ 2024年3月31日)	当期 (2024年4月1日～ 2024年9月31日)	百分比	増減額
①売上高	6,816	8,143	100.0%	1,326
売上原価	4,985	5,793	71.1%	807
販売費及び一般管理費	1,291	1,426	17.6%	135
営業利益	540	923	11.3%	383
営業外収益	29	22	0.3%	△ 7
営業外費用	45	10	0.1%	△ 35
経常利益	524	934	11.5%	410
特別利益	-	62	0.7%	62
特別損失	0	255	3.1%	254
税引前当期純利益	523	741	9.1%	218
法人税、住民税及び事業税	256	497	6.1%	241
法人税等調整額	△ 19	△ 137	△ 1.7%	△ 118
当期純利益	285	381	4.7%	95

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●利益処分

科目	前期 (2024年4月1日～ 2024年3月31日)	当期 (2024年4月1日～ 2024年9月31日)	増減額
当期末処分利益	448	539	90
利益処分量	254	367	112
②利益配当金	44	50	5
役員賞与金	10	16	6
別途積立金	200	300	100
次期繰越利益	194	171	△ 22

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

①営業部門と商品部門の強化のために22名の人材を新たに投入し、市場シェアの拡大に努めた結果、売上高は前期比で1,326百万円増加しました。

②創業以来14期連続増収と3期連続増益を達成することができたことへの株主のみなさまのご支援にお応えすべく、普通配当(1株につき6円)に記念配当(1株につき3円)を加えた9円といたしました。なお、年間配当金は普通配当(1株につき12円)に記念配当(1株につき5円)を加えた17円となります。



Corporate Profile

会社の概要 (2004年 3月31日現在)

○会社概要

商号 株式会社エスケイジャパン
 英文社名 SK JAPAN CO.,LTD.
 設立 1989年 12月 14日
 本店所在地 〒540-0005
 大阪市中央区上町一丁目3番10号エスケイビル
 資本金 378,097,699円
 従業員数 97名 (グループ合計137名 平均年齢29.2才)
 事業内容 キャラクターのぬいぐるみ、キーホルダー、
 家庭雑貨、携帯電話アクセサリグッズ、
 プライズ商品等の企画・製造・販売

主要取引先 株式会社アスモ、株式会社アスリートワン、
 株式会社アトラス、アドアーズ株式会社、株
 式会社アミバラ、株式会社アムリード、株
 式会社アリスカ、株式会社イオンファンタジー、
 株式会社カブコン、株式会社くらコーポレー
 ション、コナミ株式会社、株式会社シチエ、
 株式会社翔泳社、昭和開発株式会社、株式
 会社スガイ・エンタテインメント、株式会社ソ
 ニュー、株式会社タイトー、テクモ株式会社、
 株式会社電通テック、株式会社豊島園、株
 式会社トムス・エンタテインメント、株式
 会社ザ・サードプラネット、株式会社ナムコ、株
 式会社ハーマン、株式会社パンプレスト、株
 式会社ファンフィールド、プレビ株式会社、
 株式会社プロボックス、株式会社平和フーズ、
 株式会社マーク、株式会社マーベラスエンタ
 ーテインメント、株式会社マイカルクリエイト、
 株式会社マタハリー、株式会社山崎屋、株
 式会社ラウンドワン、株式会社ワイドレジャー

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社UFJ銀行
 株式会社三井住友銀行 株式会社東京三菱銀行
 UFJ信託銀行株式会社 住友信託銀行株式会社

役員
 (2004年
 6月17日現在)
 代表取締役社長 久保 敏 志
 常務取締役(商品担当) 八百 博 徳
 取締役(営業担当) 中 村 英 記
 取締役(管理担当) 川 上 優 仁
 監査役 西 田 昌 弘
 監査役 菅 生 新

○子会社の概要

商号 株式会社サンエス
 英文社名 SAN-S CO.,LTD.
 設立 1993年 9月 9日
 代表者 代表取締役社長 久保 敏志
 事業内容 キーホルダー、携帯電話関連グッズ等のキ
 ャラクターグッズの物販向け卸販売
 資本金 10,000,000円
 主要取引先 株式会社イエローサブマリン、イオン株式
 会社、イオン九州株式会社、株式会社イズ
 ミ、株式会社キディランド、株式会社ソニ
 ーブラザ、JR九州リーテイル株式会社、株
 式会社さくら野百貨店、株式会社しまむら、
 株式会社テラ、東映株式会社、株式会社東
 急ハンズ、株式会社ドン・キホーテ、日本トイ
 ザラス株式会社、株式会社博品館、株式
 会社プロルート丸光、株式会社平和堂、株式
 会社ボスフル、株式会社マイカル、株式
 会社丸井、株式会社ららぽーと、株式
 会社リテイルネットワークス、株式会社ロフト

商号 株式会社ケー・ディー・システム
 英文社名 KD.SYSTEM CO.,LTD.
 設立 2002年 11月 25日
 代表者 代表取締役社長 八百 博徳
 事業内容 電子玩具・電子雑貨の企画開発・販売
 資本金 40,000,000円
 主要取引先 イー・ディー・アイ株式会社、株式会社エ
 トワール海渡、中越自動車用品株式会社、
 株式会社三越、株式会社マリモクラフト

○会計監査人

中央青山監査法人 (関与社員が執務する事務所)
 〒530-8248 大阪市北区中之島3-3-3 中之島三井ビルディング15階
 TEL 06 (6479) 6011 FAX 06 (6479) 6021

○事業所

大阪、東京、名古屋、福岡



Stock Information 株式情報 (2004年3月31日現在)

○株式の状況

会社が発行する株式の総数	11,255,460株
発行済株式の総数	5,583,848株
株主数	1,925名
証券コード	7608

○大株主

株主名	所有株式数(株)	議決権比率(%)
久保敏志	2,667,229	48.09
ゴールドマンサックスインターナショナル	366,760	6.61
田中美晴	144,000	2.59
八百博徳	75,238	1.35
澤田禎夫	64,380	1.15
エスケイジャパン従業員持株会	56,262	1.01
クリアストリーム/バンクングエスエー	54,900	0.98
久保三則	48,000	0.86
中村英記	47,520	0.85
ドイツバンクアーゲーロンドンビービー ノントリティアークライアーンツB13	45,240	0.81
和泉眞人	43,440	0.78
西垣榮司	39,740	0.71
長村泰	28,540	0.51
野崎伸一	26,600	0.47
久保泰子	25,200	0.45

○株主分布状況

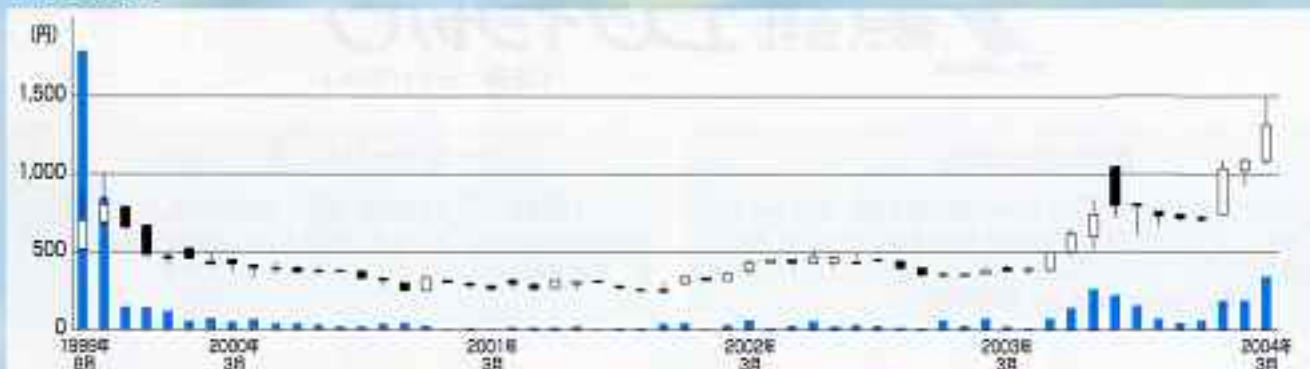
【所有者別株式分布状況】



【地域別株主分布状況】



【株価の推移】



※2003年2月までは大証証券取引所、3月以降は東京証券取引所での株価となります。また、2002年5月20日付で1株につき1.3株の分割を、2003年11月20日付で1株につき1.2株の分割を、2004年5月20日付で1株につき1.3株の分割を実施したため、株価の調整を行っております。



株主メモ

決算期	毎年 3月31日
定時株主総会	毎年 6月
基準日	毎年 3月31日 その他必要があるときは予め公告をして定めます。
配当金受領株主 確定日	利益配当金 毎年 3月31日 中間配当金 毎年 9月30日
名義書換代理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 TEL 06 (6229) 3011 (代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 ○株式関係のお手続き用紙のご請求は次の UFJ信託銀行の電話およびインターネット でも24時間承っております。 ☎ 0120 (24) 4479 (本店証券代行部) ☎ 0120 (68) 4479 (大阪支店証券代行部) 🌐 http://www.ufjtrustbank.co.jp/

公告掲載紙 日本経済新聞

○なお、日本経済新聞に掲載しております決算公告に代えて貸借対照表および損益計算書の開示は、当社ホームページ (<http://www.sk-japan.co.jp>) によることとさせていただきます。

1単元の株式数 100株

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所市場第二部
株式会社大阪証券取引所市場第二部

配当金はお早めにお受け取りください。

今回お届けした郵便振替支払通知書による配当金のお受け取り期間は2004年7月20日(火)までとなっております。郵便振替支払通知書をお持ちになって、お近くの郵便局でお早めにお受け取りください。

お受け取り期間を過ぎたら…

お受け取り期間を過ぎますと、郵便局でのお受け取りができなくなります。郵便振替支払通知書の裏面に、お受け取り方法をご指定のうえ、UFJ信託銀行大阪支店証券代行部までご連絡ください。

郵便振替支払通知書を紛失された場合は…

UFJ信託銀行大阪支店証券代行部までご連絡ください。なお、支払の確認と再発行の手続きのため、お支払まで多少日数が必要となりますので、予めご了承ください。



株式会社 エスケイジャパン

(証券コード:7608)

お問い合わせ先

〒540-0005 大阪市中央区上町一丁目3番10号 エスケイビル
(株) エスケイジャパン 経営企画室IR担当:野崎 伸一、畑 季公子
TEL: 06 (6765) 1355 (直通) FAX: 06 (6765) 0880
E-MAIL: ir@sk-japan.co.jp (IR専用)

ホームページもご覧ください。

<http://www.sk-japan.co.jp>

IR情報や財務状況、また社員日記など当社の情報を掲載しております。是非当社ホームページにアクセスしてください。

